

松戸保健所管内感染症情報

Vol. 6

発行／松戸保健所（松戸健康福祉センター） 疾病対策課
発行日：2026年2月6日

2026年第3週 2026.1/12～1/18
2026年第4週 2026.1/19～1/25
2026年第5週 2026.1/26～2/1

保健所からのお知らせ

令和8年1月27日管内で**麻しん患者の発生**がありました。
また、施設内における感染性胃腸炎、インフルエンザB型の集団発生報告が増加していますので、引き続き感染対策の徹底をお願いします。

【全数把握対象疾患】保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています。全数報告集計表については、別添をご覧ください。

	(2026年第3週・第4週・第5週)		(2026年累計第1週～第5週)	
2類感染症	結核	7	8	
4類感染症	レジオネラ症	1	2	
5類感染症	アメーバ赤痢	1	1	
	急性脳炎	3	6	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	
	梅毒	4	6	
	百日咳	4	4	
	麻しん	1	1	

【定点把握対象疾患】

上段：報告数 下段：定点当たり報告数（定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値） 前週比： ↓減少 →横ばい ↑増加

	疾病名	前週比	第5週	第4週	第3週
小児科 定点	RSウイルス感染症	↑	9 0.82	1 0.09	3 0.27
	咽頭結膜熱	↓	-	1 0.09	3 0.27
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	56 5.09	42 3.82	72 6.55
	感染性胃腸炎	↓	165 15	193 17.55	150 13.64
	水痘	↑	6 0.55	6 0.55	4 0.36
	手足口病	↑	1 0.09	-	-
	伝染性紅斑	↑	1 0.09	-	1 0.09
	突発性発疹	→	2 0.18	2 0.18	2 0.18
	ヘルパンギーナ	→	-	-	-

	疾病名	前週比	第5週	第4週	第3週
急性呼吸器感染症	インフルエンザ	↑	1191 59.55	628 31.4	313 15.65
	新型コロナウイルス感染症	↑	70 3.5	47 2.35	28 1.4
	急性呼吸器感染症(ARI)※	↑	3189 159.45	2279 113.95	1594 79.7
眼科	急性出血性結膜炎	→	-	-	-
	流行性角結膜炎	→	-	-	1 0.2

※急性呼吸器感染症（ARI）
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、
発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

【松戸保健所管内居住結核新登録患者数】

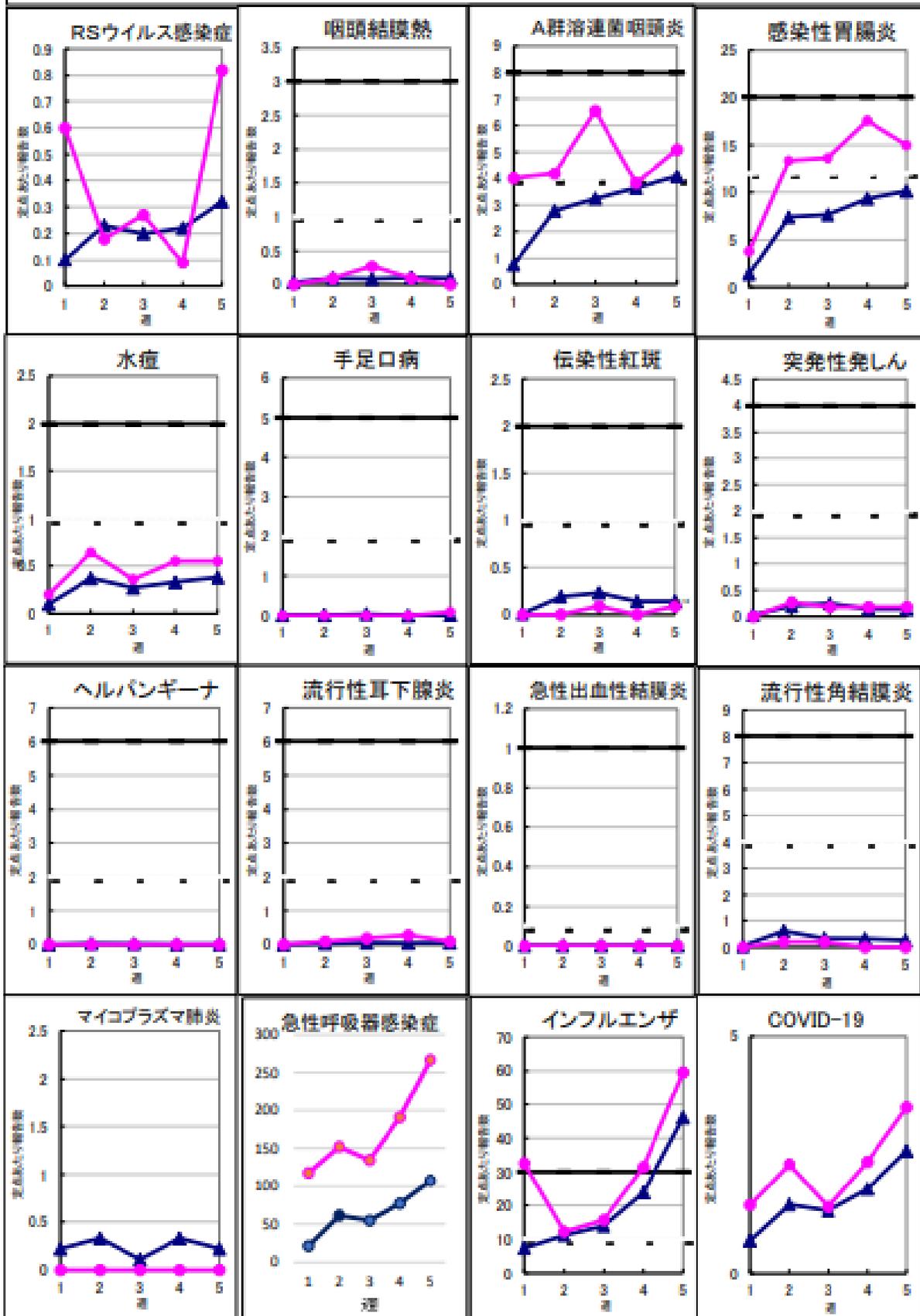
疾病名	報告数
活動性結核	
喀痰塗抹陽性	2
その他の結核菌陽性	1
菌陰性その他	0
活動性肺外結核	2
無症状病原体保有者（潜在性結核感染症）	2

【集団感染発生状況】

疾患名	報告数	
インフルエンザ（A型・B型）	保育施設	12
	高齢者施設	2
感染性胃腸炎	保育施設	7
	学校	2
	高齢者施設	1
	障がい者施設	1
新型コロナウイルス感染症	保育施設	1
	高齢者施設	2
	医療機関	2

松戸保健所管内の感染症発生動向（直近5週）

● 松戸保健所管内 ▲ 千葉県全体 — 警報基準値 - - - 終息基準値



今週のトピックス

1. 麻しん

麻しん(はしか)患者の発生について

令和8年2月6日、千葉県より麻しん(はしか)患者の発生について報道発表がありました。患者概要は以下のとおりです。

- ・40代・女性、浦安市在住、麻しん予防接種歴1回
- ・麻しん患者との接触あり(1月23日に報道した事例の経過観察対象者)
- ・症状 発熱、咳、鼻汁、発疹等
- ・経過

1月17日 麻しん患者との接触

1月31日 発症(発熱)

2月2日 東京ベイ・浦安市川医療センターを受診後、同市内の薬局Aを利用

2月4日 全身性の発疹が出現 同医療機関を受診し麻しんの診断、届出

2月5日 県衛生研究所の遺伝子検査の結果 陽性

その他詳細は添付した報道発表資料をご参照ください

なお、2026年第4週・第5週にそれぞれ1例ずつ届出がありましたので、千葉県内の2026年累計届出数は3例です。日本国内で届出された麻しん症例の推定感染地域はベトナムが最も多く、次いでインドネシア、タイ、カンボジアフィリピンなど東南アジアが中心となっています。

日本国内で届出された麻しん症例の推定感染地域



2025年第1週～第47週 (令和6年12月30日～令和7年11月23日)

出典:厚生労働省 出国前「麻しん」は世界で流行している感染症です

海外へ行く前に…

- 渡航先の麻しんの流行状況を確認する
- 麻しんの予防接種歴、罹患歴を母子手帳などで確認する
- 定期接種を受けていない場合は、接種を検討する
- 麻しんの罹患歴やワクチン接種歴が不明な場合は、抗体検査を受けることを検討する

海外から戻ったら…

- 渡航後、帰国後2週間程度は健康状態に注意すること
- 発熱や咳、鼻水、目の充血、全身の発しん等の症状が見られたら、医療機関を受診し、その際、海外渡航していたことを伝える
- 医療機関を受診する際には医療機関の指示に従うとともに、可能な限り公共交通機関を用いることなく受診する

麻しんは、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状で発症し、2日から3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症するとされています。また、死亡する割合は、先進国であっても1,000人に1人とされています。その他の合併症として、10万人に1人程度の頻度ではありますが、感染してから数年が経過した後亜急性硬化性全脳炎(SSPE)と呼ばれる予後が悪い中枢神経疾患を発症することもあります。

麻しんは感染力が強く、空気感染もするため、手洗いやマスクのみでの予防は困難で、予防接種が最も有効な予防法となります。予防接種により感染リスクを最小限に抑えることが可能であり、定期接種の機会(第1期:1歳児、第2期:小学校入学前1年間の幼児)に確実に予防接種を受けることが重要です。

罹患歴がなく、予防接種歴がないもしくは不明な場合は、かかりつけ医に相談しましょう。

[麻しん | 厚生労働省](#)

参考リンク [麻しん | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト](#)

厚生労働省 麻しんの国内外での報告増加に伴う注意喚起について(協力依頼) [001454437.pdf](#)

2. 令和7年度～世界結核デー記念～国際結核セミナー及び結核対策推進会議の開催について

結核研究所より、セミナー及び会議の開催について案内がありました。

メールによる受付で、申込期限は、2月20日(金)です。詳細については添付したチラシをご参照ください。

<国際結核セミナー>

日時 令和8年3月5日(木) 午後1時30分から午後5時(予定) (zoomによるオンライン開催)

- 1 特別講演 New technology for tuberculosis prevention and care (予定)(結核予防と医療における新技術)
講師 世界保健機関HIV・結核・性感染症部 Denis Falzon先生
- 2 ワークショップ 「X線、検査、新薬、その他周辺領域における新技術」
講演(質疑)4題 FUJIフィルム、川崎市健康安全研究所、栄研化学、複十字病院

<令和7年度 結核対策推進会議>

日時 令和8年3月6日(金) 午後1時30分から午後5時(予定) (zoomによるオンライン開催)

講演(質疑) 結核対策最新の情報他

ワークショップ 改めて考える結核の危機管理

講演(質疑)4題 国立国際医療センター、尼崎市保健所、福井県丹南保健所、茅ヶ崎市立病院